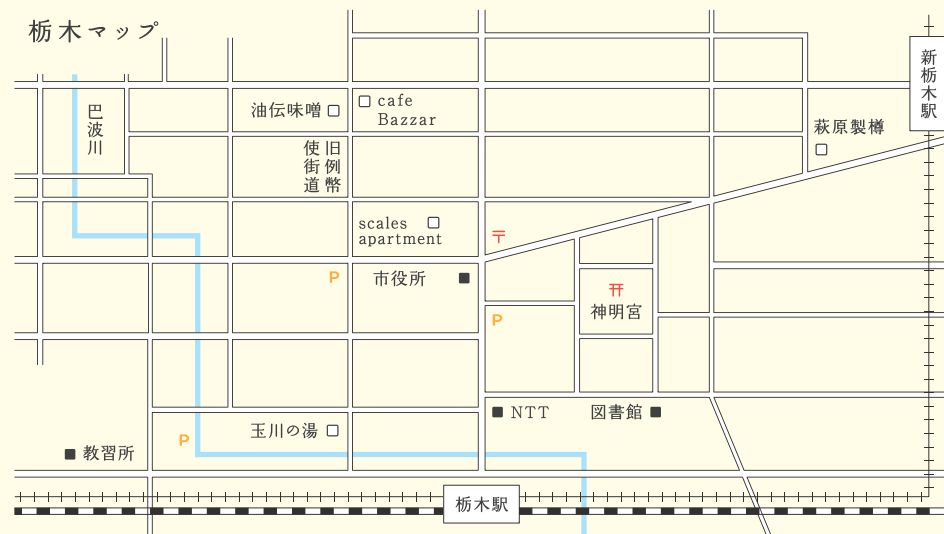




小山マップ



栃木マップ



発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課）
Tel / 028-623-2464 Fax / 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内16市町によって構成される協議会で、中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。

oyama

まっ青な空の下。駅のまわりを、ぐるりと歩く。ケータイでお店でも探そうかな、と考えたけど。せっかく知らないまちに遊びにきたのだから、自分の足で見つけてみようと思った。わたしが住むまちとはちがって、たくさん緑が目につく。道ばたの、さらさら色づいたお花。並ぶ大樹が、参道に木かげをつくってくれて。何も考えずに歩くのは、ずいぶん久しぶりな気がする。道のさきで見つけた、ちいさなお店。扉を開けると、布や皮の素材であしらった、かわいい雑貨たちが迎えてくれた。「ゆっくり見ていってくださいね」。店員さんの言葉に甘えて、ひとつひとつ手に取りながら、つかっている自分を想像して。うん、このカップにしよう。店員さんにお礼を言って、まだ歩いていない道を、まっすぐすすんだ。通りには、カフェとパン屋さん。どちらのお店の中でも、お客さんが、店主さんらしき人と、笑顔でお話している。おおきな橋が見えた。下を流れている川は、思川と書いて、おもいがわって呼ぶみたい。その名前に惹かれて、川沿いの、緑の中を歩いた。ランドセルを背負った、小学生たち。みんな、元気いっぱいに駆けている。わたしも、ちよつと走ってみよう。準備運動のつもりで、おもいきり背伸びをすると。すずしい風が、やさしくそよいだ。明日も、がんばってみようかな。





Tochigi

舟で揺られている川は、むかし、東京の日本橋まで、
続いていたみたいで。日光と江戸を結ぶ要所として、
モノや人が行き交ったまち、栃木。力づくで漕ぎな
がら、船頭さんが唄をうたう。みんな、ぶじに、故郷
へ帰ろう。長旅に希望を込めて、仲間といっしょに
うたった唄が、水の音と、こちよく交じった。舟を
降り、通りを歩くと、蔵屋敷や商店が、軒を連ねてい
て。そのときの時間を、そのまま保存したような。厳か
さで、どこか懐かしい建物は、今もまちの人たちに、
大切にたわわに。小道を抜けたら、その一角に、
若い人たちが構えるお店が並んでいた。古道具屋さん、
ご飯屋さん、雑貨屋さん。ちようどお腹が空いたから、
ご飯を食べよう。軒先に、木のベンチが、ちよこんと
置いてあるカフェへ。壁一面に描かれた、誰かの夢
みたいな風景画。その絵を眺めていると、ひとりの
女性が、ドアを開けて入ってきた。カウンターで、
店員さんとお話しして。『明後日ですね。まかせて
ください』と、店員さん。どうやら、その女の人は、
ご近所のお店の人らしくて。ちよつとの間、お店の
留守を預かってもらえたらと、お願いしていた。
ああ、そっか。みんな、助けて合ってるんだ。そう、
おかげさへ思ったのは、船頭さんの唄を思い出した
から。時がすすんでも、続いているものがあるんだ。



まちに残っているもの。

藤沼 栃木には、よく行くんですよ。若い人たちのお店や、『栃木・蔵の街かど映画祭』にも。大塚 栃木と小山は近いですよね。車なら三十分ぐらいかな。藤沼 栃木は風情ある建物が多くて。大塚 小山も、味のある建物がいっぱいありますよね。よく見かけます。藤沼 あるんですけど、壊して駐車場になる場合が多いんです。大塚 古い建物って、賃貸物件が少ないんですよ。古いから、借り手はいないだろうと。藤沼 このお店も、戦後直後ぐらいのもので。飲食業は禁止だったんですが、大家さんが銭湯仲間だったので、たまたま借りることができました。大塚 僕も今の物件に決まるまで、三十軒ほど断られましたね。藤沼 それでも栃木でやろうと。大塚 歴史の装いというか、まちの雰囲気が好きで。古道具が好きな気持ちと、似てると思います。藤沼 なるほど。大塚 海外旅行でも、遺跡とか歴史が残る場所へ行くことが多いって。『こういう生活してたのかな』って想像するのが、おもしろいです。藤沼 僕も、栃木を歩いていると、その楽しさを実感しますね。

目的をつくる。

大塚 小山は生活しやすいですよ。商業施設も、緑もあるし。藤沼 便利ですね。けど、まちを歩く楽しみは少ないかなと。大塚 そう考えると、藤沼さんのお店のように、ホッとできる場所が生まれたのは、まちにとってプラスですね。藤沼 その言葉、すごく嬉しいです。中心地に店を構えたのも、まち歩きに一翼担えたら、という気持ちでしたので。大塚 僕の店の場所は、歴史的な風景が残っているけど、観光地から離れて。なかなか人が来ない。もつとまちを知ってもらえたらと始めたのが、地元のお店と協力した『クラモノ』というイベントなんです。藤沼 僕たちも、『クラモノ』みたいな、まちで楽しんでもらうイベントがやりたくて、『おやまのしと』というチームをつくりました。マルシェの他に、一店舗に各店の商品や食べものを持ち寄ったイベントなんかも。大塚 まちに来てもらうには、目的が大切ですよね。藤沼 なので、小山にもっとお店が増えたら、と。カフェも、僕のところ以外のお店があって、好きな店を選んでもらう。たくさんの目的が、まちに生まれて欲しいです。

ま
ち
と
ひ

右 藤沼 英介 / Cafe FUJINUMA
栃木県小山市中央町2-8-16
Tel. 0285-37-8704
open. 11:00-21:00 (金・土曜#24:00)
close. 月曜日

左 大塚 悦雄 / scales apartment
栃木県栃木市嘉右衛門町1-27
open. 11:00-18:00
close. 月曜日 / 毎月10日・29日



間々田の組みひも

着物の帯締め、刀の下げ緒、茶道具を入れる桐箱の結びに。奈良時代からはじまった、組みひもの文化。特に盛んだった江戸時代では、粋な装身具として、人々の身を飾っていました。時代が機械化へと進むなか、『間々田ひも店』さんは、手組みの伝統を守り続けています。「手で組むと、ひもに伸縮性が生まれるので、使いやすく、長持ちするんです」。心がひもに表れるのが、手組みのむずかしい特性。少しでも雑念が入ると、組みの間隔のズレや糸のほつれとなつて、つくり手の心が浮き出てしまう。「気持ちいを落ち着かせることも、技術だと思っています」。つかう人に喜んでもらうのが、何よりいちばん。その信念も、初代から大切に受け継がれてきた伝統です。幾通りもの組み方やひもの種類を、つかい手の気持ちに合わせて、選んでいく。その技術を活かし、現在では、今の生活様式に合った商品の開発にも力を入れています。『間々田ひも店』さんは、組みひもの伝統と未来を、結んでいます。

間々田ひも店

栃木県小山市間々田1315-2 / Tel. 0285-45-0343
open. 10:00-19:00 日曜 18:00 / close. 月曜日



栃木の樽

最近まで、醤油や味噌の入れものとして、樽は、生活樽の用品でした。しかし、新しい素材の開発にともない、樽の代わりを、瓶や缶が担うように。それでも、丁寧に、樽をつくらなければならない。その想いは、萩原さんの、手の仕事に表れています。『萩原製樽』の特徴は、「一貫生産であること。木の選別・切り出し、削り、タガの輪締め。ほとんどの作業を、自分の手で。機械をつかえば、均一に木を削ることができる。けれど、木それぞれが持つ、木目の個性は生かせない。気候によって、縮んだり固くなったりする、木の特性を考慮したつくり方も、細やかな手作業だからできること。」「木は生きもの」と、タガの締まりを何度も調整しながら、萩原さんは話します。つかうほどに、風合いが増す杉材。その素朴な手ざわりと、つかっていく幸せを、たくさんの人に味わってほしい。「嬉しいのは、何年も前に自分がつくった樽を、修理に持ってきてくれる人がいること。大切につかってもらえている証です」。トントンと力強い音が、工場に響きます。

萩原製樽

栃木県栃木市平柳町1-9-2 / Tel. 0282-22-1280
open. 9:00-18:00 / close. 日曜日







今回のモデル

下村 真梨奈さん

小山市も栃木市も、初めて訪れましたが、穏やかで居心地のいい街でした。なにげなく歩いているだけでも、素敵なお家や小道がたくさんあって。遊びに伺ったお店は、どこも個性的なお店ばかりだったので、近くに住んでいたら絶対通うのに、と思いました。また遊びに来ます。

*machi
furari*

撮影協力

小山市

ipan / cafe Q

Cafe FUJINUMA

sahan / 須賀神社

栃木市

油伝味噌

cafe Bazzar

scales apartment

蔵の街遊覧船

玉川の湯

栃木県内中心市街地のイベント情報 [2014年9月－2014年11月]



宇都宮市 / 2014 ジャパンカップ クリテリウム

5周年を迎え、ますます盛り上がるクリテリウム。
迫力ある世界のトップレースが、目の前で味わえます。

期間 / 10月18日[土] 時間 / 15:50スタート予定 場所 / 宇都宮市大通り周回コース 問合せ / ジャパンカップサイクルロードレース実行委員会事務局 Tel. 028-632-2736



栃木市 / とちぎ秋まつり

見事な彫刻と、有形民俗文化財の金糸銀糸の刺繍を施した江戸型人形山車が、蔵の街を練り歩きます。

期間 / 11月14日[金]～16日[日] 場所 / 蔵の街大通り周辺 問合せ / 栃木市観光協会 Tel. 0282-25-2356



真岡市 / もおか木綿ふれあいまつり

「ミス・コットンコンテスト」や、地元のテント市、グルメまつり、サンパカーニバルなどが楽しめます。

期間 / 10月12日[日] 時間 / 10:00～16:00 場所 / 真岡市荒町本通り 問合せ / 真岡商工会議所 Tel. 0285-82-3305



佐野市 / ばるぼーとマルシェ

手づくり雑貨や生活用品、新鮮野菜がずらりと並びます。
野外ステージでは、パフォーマンスライブも。

期間 / 9月20日[土]・10月18日[土]・11月15日[土] 時間 / 9:00～14:00 場所 / 佐野駅前交流広場 問合せ / 佐野駅前交流プラザ ばるぼーと Tel. 0283-27-0005



小山市 / おやま開運まつり・おやま西口まつり

開運まつり、西口まつりの他に、一夜御殿まつり、ハンドペルフェスタも。イベント盛りだくさんの、まちなかへ。

期間 / 10月19日[日] 時間 / 10:00～15:00 場所 / 小山市役所・小山駅西口周辺 問合せ / 小山市商業観光課 Tel. 0285-22-9273



那須烏山市 / 第21回 大木須新そばまつり

地元産新そば粉でつくったけんちんそばを、1日限りで販売。売り切れ必至の、おいしい名物そばを。

期間 / 11月23日[日] 時間 / 10:30～14:00 場所 / 大木須オオムラサキ公園 問合せ / 那須烏山市商工観光課 Tel. 0287-83-1115



日光市 / 今市屋台まつり

伝統ある彫刻屋台6台と、花屋台4台が、まちなかへ繰り出します。活気あるお囃子との競演も、お楽しみに。

期間 / 10月19日[日] 時間 / 13:00～19:00 場所 / 今市中心市街地 問合せ / 日光市今市納涼祭実行委員会 Tel. 0288-30-1171



大田原市 / 第4回サウンドクロス in 大田原

大田原のまちなかに、2つの特設ステージが出現。軽音楽の生演奏が、中心市街地を賑わせます。

期間 / 10月26日[日] 時間 / 10:00～16:00 場所 / トコトコ大田原・金燈籠ポケットパーク 問合せ / 大田原商工会議所 Tel. 0287-22-2273

まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふらり』は、多くの人に栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、「まちなか」の魅力を紹介する冊子です。歩くまちは、毎号2市町ずつ。次号は、日光市・鹿沼市となります。どうぞお楽しみに。